

2022年12月26日
一般社団法人 日本養鶏協会

日鶏協速報

高病原性鳥インフルエンザ関連 No. 23

高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内48例目）について

12月26日（月）、福岡県糸島市の家きん農場において、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内48例目）されました。

会員各位におかれましては、改めて野生動物の侵入防止及び畜舎に出入りする際の手指及び靴の消毒、衣類の交換、農場に出入りする車両の消毒等、飼養衛生管理基準の順守、飼養家さんの異状の早期発見・通報等について、強化・徹底していただくよう、お願いいたします。

- [福岡県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について（農林水産省）](https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221226.html)

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221226.html>

農場の概要

所在地：福岡県糸島市
飼養状況：約3.6万羽（肉用鶏）

会員専用電話

当協会では高病原性鳥インフルエンザ対策本部の設置とともに、鳥インフルエンザに関する会員専用電話を設置し、休業日においても会員の皆様からのご相談を受け付けておりますのでご活用ください。

【会員専用電話】 TEL：070-4564-1896、受付時間：休業日 10：00～17：00

【高病原性鳥インフルエンザ対策本部 事務局】

[一般社団法人 日本養鶏協会](https://www.jpa.or.jp)

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内（5階）

TEL：03-3297-5515 FAX：03-3297-5519 E-mail：info@jpa.or.jp

担当：浅木、阪本、野澤